



やざわはるか
矢澤青河 議員

プラスチックごみ

Q 新法施行に伴うプラスチックごみ処理の対応は

A 国の動向を注視し検討する



議員のひびき
 プラごみのリサイクルは
 本当に効果があるの？

議員 本市のプラごみの44%は焼却され、37%が再商品化される。委託単価は1トンにつき約5万円。ペットボトルの20倍以上。市民や市の分別・収集運搬の手間、多額の費用からプラごみの分別を廃止し、最新の焼却炉による熱リサイクルに切り替える自治体も多い。国全体の材料リサイクルは6割以上輸出だったが、平成29年の中国の規制により輸出が激減。処理環境が未整備の東南アジアへ輸出され環境汚染につながったほか、国内滞留が増した。令和4年の新法施行でプラごみのさらなる分別が求められるが、本市の対応は。

環境経済部長 国の動向を注視し、衛生センターと調整して検討する。

議員 鳥取市は「リサイクルには、エネルギーや多額の経費が必要で、



プラスチックごみ処理の現状

収集運搬・処理などに多額の税金を使用する」「ごみ問題の解決には大量消費・大量廃棄のライフスタイルを転換する必要がある」とホームページで説明している。本市のプラごみの減量化対策は。

環境経済部長 レジ袋などの、使い捨てプラ製品を使わないよう周知啓発し、減量化の推進を図る。

一般質問



こがねざわまさし
小金澤 優 議員

学校トイレ

Q トイレの洋式化への改修計画は

A 課題として捉え今後検討する



議員のひびき
 子供たちが子供らしい生活をするための手助けを

議員 ①学校に和式トイレがある理由は②洋式トイレの割合は。

教育部長 ①芦原小学校や戸田東小・中学校以外の学校は昭和30、50年代に建設され、当時はすべて和式トイレだった。現在も校外学習などで公衆トイレを利用する際は和式も多く、対応できるように和式トイレを設置している②全国の公立小中学校の洋式化率は57%、本市は約70%となっているが、全国平均を下回る学校もある。

議員 洋式化率が全国平均を下回っている学校において、今後の改修計画はあるか。

教育部長 教育委員会では、施設設備の課題として、安心安全な教育環境を確保する観点から老朽化した校舎の改築と、児童生徒の増加による教室不足の解消に伴う校



戸田東小学校の新しいトイレ

舎の増築や教室改修を優先している。トイレの洋式化については課題として捉えており、財務部門と検討していく。

その他の質問

Q 生活困窮者への年末年始の相談窓口対応は。

A 宿日直が受け付け、緊急の場合は担当に連絡する。

学校給食費

Q 事業を適正化し、値下げせよ

A 現状通りに実施していく



議員 病児・病後児保育事業、子ども医療費助成事業を適正化し、給食費の値下げに充てるべきである。いずれの事業もサービスの質を落とすことなく効率化でき、財政支出を増やさずに、年間1万円以上の給食費値下げが可能である。

教育部長 給食費への支援は、第3子以降の補助を既に行っている。子ども健やか部長 現状通りの方法で実施していく。

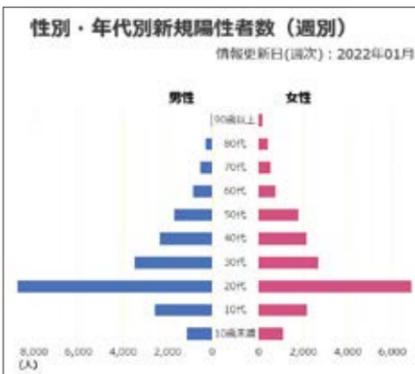
議員 病児・病後児保育事業のコストは子供1人1回当たり8万円弱。無料の子ども医療費を利用し、子供に処方されたクリームを母親が美容目的で使用する例もある。改善が必要である。

所に濃厚接触者と判定されない児童の中から多くの感染者が確認された。基準を見直し、市で独自に検査すべきではないか。

健康福祉部長 これまで通り保健所の助言などを勘案し判断する。

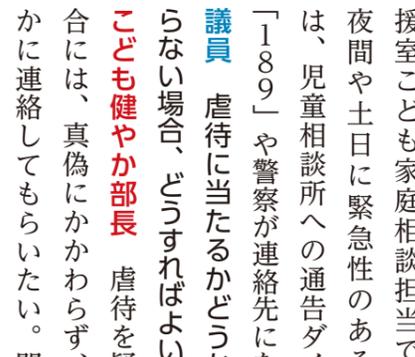
議員 実際に多くの感染者が出て、本市の保健政策への信頼を根本から揺るがしかねない。

幼保・小中学校のコロナ対策を



コロナ第6波は若年者への対策がカギとなります(厚生労働省ホームページより)

一般質問



さかいいくろう
酒井郁郎 議員

市の子育て施設で、保健

議員のひびき
 クリームより給食費値下げを!!

児童虐待防止推進

Q 虐待かなと感じた場合どう行動すべきか

A 真偽にかかわらず速やかに連絡を願う



議員 本市の現状は。

子ども健やか部長 令和2年度の相談件数は令和元年度とほぼ同数の2781件。虐待通告件数は前年度より約25%増加の86件で身体的虐待が増加している。

議員 虐待ではないかと感じた近隣住民、連れ合いや同居人の振る舞いが虐待ではないかと悩む双方にとって相談・通告窓口はどこか。

子ども健やか部長 子ども家庭支援室子ども家庭相談担当である。夜間や土日に緊急性のある場合は、児童相談所への通告ダイヤル「189」や警察が連絡先になる。

議員 虐待に当たるかどうか分からない場合、どうすればよいか。

子ども健やか部長 虐待を疑う場合には、真偽にかかわらず、速やかに連絡してもらいたい。関係部

署で協議の上、判断し対応する。

議員 いただいた答弁から①虐待かなと感じたら迷わず通告することが重要②相談や通告があれば、市は県と情報を共有しながら関係機関総ぐるみで対応することなどが確認された。発覚する虐待事例は氷山の一角、見えにくい部分に少しでも光を当て、児童虐待防止・早期対応を進めるよう願う。



とだ議会だより No.216

とだ議会だより No.216